

東京都健康長寿医療センター
養育院・渋沢記念コーナー
連絡先: 老年学情報センター

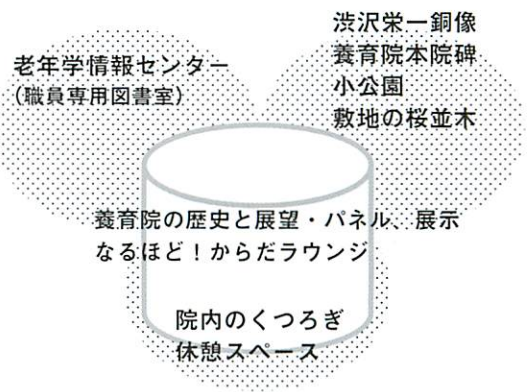


2013年6月、東京都健康長寿医療センターは、新築落成し、新施設で高齢者医療に新たな一步を印しました。

センターの前身は、東京都老人医療センター+東京都老人総合研究所、その前は、昭和47年に建設された東京都養育院附属病院+東京都老人総合研究所です。更に遡ると、今から140年前の明治5年に本郷に創設された養育院ということになります。時代の要請に応じて医療・福祉の多方面に展開していったその歴史は、日本の近代医療・福祉の歩みそのものです。

新施設の出発に当たって、入り口の円筒ガラス空間の2階に、養育院・渋沢記念コーナーが設けられています。くつろぎの空間、来院者の健康に関わる情報提供のための図書室とともに、養育院の歴史と健康長寿医療センターの展望を示す展示を用意しました。『養育院・渋沢記念コーナー』と名付けられるこの空間の成り立ちについてご理解頂くために、**櫻園通信**を出発させました。養育院は、昔から、桜の名所であり、院内の彼岸桜が咲き始めた3月にこの冊子を出発させたことから、**櫻園通信**と名付けました。応援の意味も込めています。

渋沢栄一銅像、養育院本院跡碑、小公園、外構の桜などの樹木と一体となった空間を考えており、ヒポクラテスの木の苗も植樹予定です。また、一般向けの図書コーナーと、専門家向けの老年学情報センター（3階）と連携した運営となります。なお、センター1階ホールには、山口晃画伯による『養育院幾星霜之図』と題する壁画が飾られています。円筒部分の一階は、**カフェドクリエ**が喫茶部門を営業しています。また2階には、売店**グリーンリーブス**、食堂**ピアンモール**を営業しています。合わせてご利用ねがいます。



養育院・**渋沢記念コーナー**

病院のシンボリック癒し空間を提供する設計

者の意図、老年学情報センターが提供する、患者・患者家族の健康問題及び高齢者の生活に役立つ老年学の知見を紹介するコーナー、養育院の歴史に関する展示コーナーとの3つの役割を合体させたものです。パネ

ル・図書の閲覧のほか、インターネットの利用、視聴覚メディアや立体模型、手で触れる・動かすハンズオン展示など複数のメディアで情報提供を行っています。また、食堂や売店にも隣接した明るいホールであり、呼び出し番号パネルを設置した休憩・待合コーナーとしての機能をもたせます。なお、図書コーナーの内扉、ホール柱の基部には、敷地内にあった桜を素材として再利用しています。

展示内容：・常設壁面パネル展示「引き継がれる志」逐次、説明のためのパンフレットを用意します。

- ① 養育院の系譜イラスト
- ② 養育院掟書初款：明治6年2月、上野の養育院恒久施設開院の時、用意されていた利用者の約束事の冒頭に、大久保一翁府知事が追記。
- ③ 養育院・渋沢記念コーナの入口サイン：
- ④ ”養育院”とは？：時代の求めに応じて、医療・福祉事業を展開していった様子を示す。
- ⑤ 江戸の福祉と医療：小石川養生所、松平定信の七分積金、安政の改革と蕃書調所、病幼院創立意見、長崎養生所、パリ万博使節団に言及。
- ⑥ 養育院と東京府病院：大久保一翁府知事時代に設立。
- ⑦ 大久保忠寛（一翁）と渋沢栄一：両者の関係に言及
- ⑧ 養育院、冬の時代：養育院の維持、発展に尽力した渋沢栄一。
- ⑨ 養育院の発展に貢献した人々。安達憲忠、入沢達吉、光田健輔について。
- ⑩ 養育院の看護：拝志よしね、瓜生岩このこと。看護教育の歴史
- ⑪ 第二次世界大戦と戦後復興：塩原疎開、空襲、戦後の用地縮小について。
- ⑫ 高齢者医療・福祉の展開：1972-2009の三位一体の高齢者医療・福祉の展開。
- ⑬ 新施設オープン：新センターの運営理念
- ⑭ 時代の求め、社会の求めに応える志：鹿鳴館のバザー、様々の寄付、船形の磨崖碑
- ⑮ 展示：松平定信の吉祥天心願書と渋沢栄一の讃、渋沢栄一86歳の書、入澤達吉：老人病学（世界初の高齢医学教科書）など



なるほど！ からだラウンジ

複数のメディアにより疾患や治療の理解を深めるための場として、また、生活情報として役立つ老年学の知識、病院部門および研究部門各所が作成した一般向けの業務案内・イベント広報・健康管理情報を提供します。また、読書の楽しみとしての図書（小説等）も今後、置いていきます。

- ・ 図書の閲覧・貸出
病気と治療に関する一般向けの解説書など
- ・ 映像資料の視聴：健康番組DVDなどを設置PCで視聴（準備中）
- ・ インターネットの利用：コイン式パソコンでインターネットが使えます。
- ・ からだのしくみや疾患の状態の理解に役立つ立体モデル等の展示（準備中）。
- ・ 院内報「糸でんわ」や病院部門各科作成のパンフレット等の配布、研究部門作成の健康管理情報ポスター掲示、老年学公開講座テキストの閲覧、イベント広報のためのチラシ配布・ポスター掲示など



図書の利用

- 平日 10:00～13:30
- コーナー内では、自由に読書できます。
- 本のコピーをしたい場合は、売店のコピー機をご利用ください。
- 患者様とご家族の方には図書の貸出もしています。
- 貸出冊数は、何冊まででもOKです。
- 貸出期間の目安は2週間以内としていますが、多少おそくなってもけっこうです。
- 本の返却の際に、係員が不在のときは、返却用ボックスに本を入れてください。



コーナー内は飲食OKです。
待合・休憩・談話コーナーとしてもご利用ください。



コーナー内では、携帯電話のご利用は可といたしますが、声がひびきやすい場所なので、他の方にご迷惑がかからないよう、ご配慮ねがいます。